

広報 まつのやま

19903月号 (No.169)



2月27日

県内のトップをきつて
県立安塚高等学校
松之山分校で卒業式が
行われ
53名が学舎を
あとにしました。



筒井信隆氏(社)が初当選果たす！

消費税の風
いまだ止まず！！

二月三日に公示された衆議院議員選挙は、消費税問題や保革逆転がなるかというような、九〇年代の行方へを占う重要な選挙として、かつてないほどの盛り上がりを見せ、日本各地で激しい選挙戦が行われました。

この注目すべき選挙の投票が十八日の日曜日に行われ、一部地域を除いて即日開票されました。結果は、自由民主党が安定多数といわれる二百七十一議席を大きく上回り、保革逆転はなりません。野党では、社会党が消費税廃止を訴えて国民の支持を受け、解散時の議席を五十以上増やす大躍進をしましたが、他の党は軒並み議席を減らし、党運営にも影響を与える結果となりました。

4 区 (定数 2)	
当選	筒井信隆 82,603票 (社会新)
〃	高鳥 修 65,951票 (自民前)
次点	白川勝彦 61,106票 (〃)
	宮越 馨 47,388票 (無 新)
	田中徳光 4,001票 (共産新)

県内四つの選挙区でも大きな動きがあり、社会党候補が四つの区でいづれもトップ当選を果たすという、かつてない結果で、保守系候補に大きな衝撃を与えました。今まで

議員のいなかった二区と四区で議席を取り戻した事になります。四区では二議席の所に五人が立候補し、十五日間激しい選挙戦を繰り広げて来ましたが、議席の奪回に全力を傾ける筒井氏と、現在の二議席をどうしても死守しようとする高鳥氏と白川氏、これに宮越氏を加わって前回以上に票の読めない選挙のようでした。

結果は、消費税の廃止を中心に訴えた社会党の筒井信隆氏が、八万二千票以上という高い得票数で初当選、しかもトップ当選という活躍で、保守の一角を崩すことに成功しました。残るもう一つの議席は、自民党前議員の高鳥修氏が、同じ前議員の白川勝彦氏に四千八百票以上の差をつけて、再び当選しました。白川氏は若さと行動力を前面に出して運動を進めて来ましたが、今一步届かずでした。宮越馨氏も四万七千票を上回る得票を取り、前回より大幅に票を伸ばしたのですが、当選までには至りませんでした。



一票の重みを感じますね。
第2投票所（三省分館）



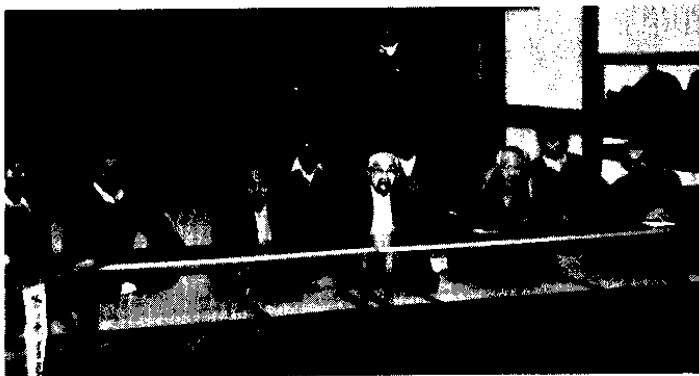
手際よく進められる開票作業

松之山町の結果 (今回)

高 鳥 修	1,277票
白 川 勝 彦	903票
筒 井 信 隆	389票
田 中 徳 光	172票
宮 越 馨	41票
合 計	2,782票
最終有権者数	3,143人
投票者総数	2,795人
上記のうち無効者	13人
投票率	88.93%

松之山町を除く郡内の得票状況

候補者 町村名	宮 越	田 中	白 川	高 鳥	筒 井	計 票	投票率 %
安 塚 町	390	8	843	1,187	938	3,366	90.32
浦川原村	624	44	749	835	940	3,192	91.09
松 代 町	538	83	1,139	1,252	801	3,813	89.10
大 島 村	302	10	530	1,053	376	2,271	91.39
牧 村	1,116	22	421	667	499	2,725	89.77
東頸城郡計	3,011	339	4,585	6,271	3,943	18,149	90.03



開票を見守る住民の皆さん

松之山町の前回得票数 (S.61.7.6)

高 鳥 修	1,414票
白 川 勝 彦	1,089票
筒 井 信 隆	237票
田 中 徳 光	188票
宮 越 馨	50票
佐 藤 節 夫	36票
合 計	3,014票
投票率	89.74%

ふるさと創生1億円

各部門別入選者決まる

皆さんから多数応募していただきました「ふるさと創生一億円」の使いみちについて、二月号でアイデア賞となられた方のみ紹介しましたが、今号では各部門に三点ずつの入選作品が決まりましたので、入選者と入選作品の内容を紹介いたします。

なお、入選者には一万円の図書券が、また応募していただいた皆さん全員に二千円の図書券が贈られる事になりました。

今回入選作品を決めるにあたっては、

- 一、高齢者健康対策
- 二、総合コミュニティ施設
- 三、地下資源の開発
- 四、自然環境保護育成
- 五、人材育成(特産品開発)
- 六、その他

この六つに分類した中より共通性があるという事で、一と二を一つに、三と四を一つにまとめた形で選出しました。大変長く細かく提案されたものもありましたので、一部要点のみ紹介させていただきます。

区分一、二部門の入選者

◎シルバー天国(計画)又は共和国・王国でも良い。

(温泉利用)

提案者 山岸石松さん(新山)

○これからの高齢化社会を考えて次の事を提案します。

①リハビリテーションを老人保養施設を中心に据えること(シルバー天国の核として)

温泉利用のリハビリ施設の一切。

②①の施設を核にして、その周りに一人住まいのお年寄りや、老人夫婦なども収容できる住居(シルバーアットホーム等)を造り収容する。

③老人の孤独化とさみしさからの解放のために、生涯対策事業を進める。小型菜園、花壇、生涯学習、手芸、趣味の集いなど。

④老人同志の交歓の場、施設を作る。温水プール、ゲートボール場、その他遊技施設の設置。

⑤保育園などと子供たちの遊園地(小公園)を近くにつくり、交歓の場を設ける。

⑥若い人との交流の場(施設と機会をつくる)、生きた歴史対話などの学習。

◎「健康と福祉保養地域」建設

温泉付施設

提案者 小口成一さん(松之山)

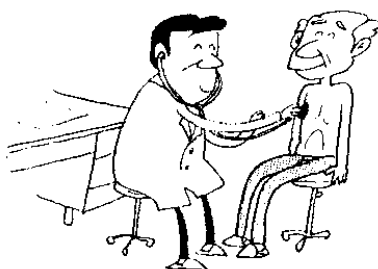
○保養館・老人施設・町営国民宿舎の三点をセットとした施設が目標。

松之山町での六〇歳以上の人は一、三八七人(三月末)

三五%となりましたが、当町だけでない高齢化時代に対応して、健康的な自然環境とブナ林等の景観を生かしながら、鬼口「翠の湯」をさらに活用

したらどうでしょうか。

鬼口と松之山の中間辺に温泉付きの「健康と福祉保養地域」を建設したらいかがでしょうか。



◎志賀昆虫記念館と昆虫公園の造成

提案者 村山正英さん(橋詰)

○松之山町出身で現在東京青山に住んでおられる志賀卯助氏は、志賀昆虫社という学校などで標本づくりの時使用する器材を販売する会社を営んでいる。

志賀さんはまた、珍しい蝶や昆虫の収集家でもあり、沢山の貴重な標本を持っておられる。志賀氏の昆虫に係わる偉業と松之山を関連づけ、

志賀昆虫記念館と併せて昆虫公園の造成を提言します。今やかぶと虫や蝶の繁殖はむずかしいものでなくなりま

した。学習や観光・リゾートの面からも記念標本館と昆虫公園を是非造ってほしいと思います。

区分三以降のものについては、入選者のみ今号でお知らせし、内容については順次掲載していきます。

▼区分三～四部門

◎美人林周辺と須山地区の自然保護を生かしたふる里づくり
提案者 松之山町野鳥愛護会

◎温泉掘削と大蔵寺高原周辺の整備
提案者 小野塚一栄さん (松之山)

◎日本一の野鳥の里づくり
提案者 高橋寛一さん (松口)

▼区分五部門

◎特産品の開発・加工施設の建設
提案者 保坂諭祐さん (松口)

◎人脈づくりと職員教育

提案者 竹内茂俊さん (豊田)
◎漢方薬・栽培・製造販売
提案者 高橋忠則さん (十日町)

▼区分六部門 (その他)

◎カヤ葺民家 (曲り屋) を最低五戸位移築保存
提案者 柳能弘さん (松代町)
◎休養村センター周辺を公園化し、コミュニティ活動の拠点に
提案者 村山祐一さん (上川手)
◎観光と農業が一体となった生産物地場消費計画
提案者 村山邦一さん (上川手)



4月より役場・診療所が 第2・第4土曜日休みとなります

1990 4 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14 閉庁日
15	16	17	18	19	20	21 閉庁日
22	23	24	25	26	27	
29	30					

十二月議会で決定されたとおり、四月より役場、教育委員会、診療所の業務が、第二・第四土曜日休みとなります。保育所と学校は今まで通りです。

この日は、日曜・祭日のように日直があり、戸籍の届出 (出生・死亡・婚姻等) は出来ませんが、戸籍謄・抄本、住民票などの交付は出来ませんので、ご協力をお願いします。なお、その他の証明・受付も出来ませんので、ご注意ください。

1990 5 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12 閉庁日
13	14	15	16	17	18	19 閉庁日
20	21	22	23	24	25	
27	28	29	30	31		

診療所の場合、第二と第四のほかに先生の出張等で休診となる場合もありますが、その都度回覧でお知らせします。住民の皆さんに大変不自由をおかけしますが、何分のご理解とご協力をお願いします。

四月・五月の閉庁、または診療所の休診日は次のとおりです。

▼四月 十四日 (第二土曜日)
〃 二十八日 (第四土曜日)
▼五月 十二日 (第二〃)
〃 二十六日 (第四〃)



第41回

松之山 スキー競技大会

「ソレーガンバレーノ」2人同時スタート

五八〇人が参加技を競つ

今年で四十一回目を迎えた伝統ある松之山スキー競技大会が、二月三日・四日の二日間、松之山温泉スキー場と町民グラウンドを会場に開催されました。

この大会には町内の方はもちろん、外丸小学校など十三の小学校、九つの中学校、三つの高校やスキークラブ、個人など、合計五七七名の参加があり、大変にぎやかな大会でした。天候の方も快晴とまではいかないものの暖かく、選手も応援する人も伸び伸び出来たと思います。

松之山温泉スキー場のアルペン部門では、大回転と回転の二種目が行われ、小・中学

生の部門で地元の活躍が目立ちました。

町民グラウンドをメイン会場として行われた距離（クロスカントリースキー）部門には、小・中学生三二〇名が出場し、三キロ・四キロ・十キロのコースに挑戦しました。

選手の皆さんは、コース脇からの声援を受けながら一生懸命走っていました。最初のドラダラ上りのコースがかなりきつかったようです。

この距離でも松之山の選手が頑張り、個人・リレーとも良い成績が生まれました。選手それぞれ大会関係者の皆さん、大変を苦労さまでした。

ジャイアントスラローム

(大回転)

- ▼小学生男子A (六年)
- ①高沢 平(松里小) 51秒27
 - ②村山由貴男(松代小) 51・79
 - ③中島 良(松之山小) 52・73
- ▼小学生男子B (五年以下)

- ①津端康博(松之山小) 54・96
 - ②瀬沼由則(松代小) 55・69
 - ③佐藤一登(松里小) 56・94
- ▼小学生女子A
- ①半戸小百合(津南JRC) 57・15

- ▼小学生男子A
- ①村山由貴男(松代小) 1・01・34
 - ②高沢 平(松里小) 1・02・49
 - ③相沢俊幸(松之山小) 1・03・72
- ▼小学生男子B

- ①津端康裕(松之山小) 1・04・91
 - ②瀬沼由則(松代小) 1・06・12
 - ③佐藤一登(松里小) 1・06・27
- ▼中学生男子
- ①浦井光好(津南中) 1・41・55

スラローム (回転)

- ①小野塚尚子(松里小) 58・53
 - ②滝沢和美(松之山小) 59・01
- ▼小学生女子B
- ①小野塚瞳(松里小) 58・11
 - ②藤木理江(津南JRC) 59・59
 - ③佐藤 愛(松里小) 60・79
- ▼中学生男子
- ①小野塚学(松之山中) 1分7秒76
 - ②村山 臣(〃) 1・11・09
 - ③福原 誠(〃) 1・12・03
- ▼中学生女子
- ①津端美晴(津南中) 1・14・91

- 大回転競技 (スキー場)
- ②佐藤麻紀(松之山中) 1・15・05
 - ③植木芽久美(〃) 1・18・05
- ▼高校生男子
- ①高橋 広(津南高) 1・08・93
 - ②若井孝幸(松代高) 1・10・03
 - ③小野塚浩二(松之山高) 1・12・06
- ▼高校・成年女子
- ①金沢恵美子(グリーン) 1・20・98
 - ②林 郁江(戸田建設) 1・39・85
 - ③秋山 泉(戸田建設) 1・42・07
- ▼成年男子一部
- ①宮沢徹也(十日町) 1・13・61
 - ②宮崎晃久(桑名川RC) 1・15・33
 - ③石沢隆明(県職長岡) 1・16・48
- ▼成年男子二部
- ①村山好文(ダイトーSC) 1・13・35
 - ②大藤雅史(〃) 1・14・37
 - ③奈須川隆(〃) 1・15・33
- ▼成年男子三部
- ①曾田憲一(糸魚川土木) 1・25・15
 - ②土田利栄(県職長岡) 1・28・38
 - ③田中慎明(桑名川RC) 1・28・56





②村山 臣(松之山中)	1・42・31	①相羽正彦(スノーマン)	1・43・13
③福原 誠(〃)	1・43・73	②宮沢徹也(十日町)	1・44・87
▼中学生女子		③関口一成(桑名川RC)	1・46・55
①津端美晴(津南中)	1・51・81	▼成年男子二部	
②高橋ひとみ(〃)	1・52・60	①村山好文(ダイトールSC)	1・45・23
③植木芽久美(松之山中)	1・53・55	②今井伸行(県職長岡)	1・45・72
▼高校男子		③奈須川隆(ダイトールSC)	1・46・35
①高橋 広(津南高)	1・31・51	▼成年男子三部	
②津端岳生(〃)	1・35・48	①土田利栄(県職長岡)	1・05・19
③小林慶雄(松之山高)	1・38・94	②常川 守(須坂市)	1・07・94
▼成年男子一部		③曾田憲一(糸魚川土木)	1・08・49

クロスカントリースキー

(距離)

▼小学男子A 5キロ		①池亀亮人(外丸小)	16・23・0
①高橋利一(松里小)	15分23秒9	②高橋佳男(松里小)	17・23・2
②若井由加(室野SC)	16・10・9	③高橋 明(外丸小)	17・41・4
③小菅敏之(安塚小)	16・26・0	▼小学生女子A 3キロ	
▼小学生男子B		①高橋美樹(外丸小)	12・24・1



スタート直後からデッドヒートが繰り広げられる(中学男子)

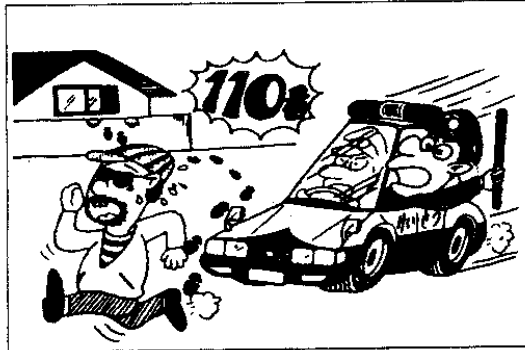


みんなの声援をうけながら
一生けん命走る選手たち
(距離会場)

リレー競技

▼小学生男子		①安塚小学校Aチーム	47分27秒7
①安塚小学校	49・17・7	②松里小学校	49・55・2
③外丸小学校Aチーム	27・46・4	▼小学生女子	
①外丸小学校Aチーム	30・13・6	①浦田小学校	30・39・8
②浦田小学校	30・39・8	③安塚小学校	30・51・2
④東川小学校	31・41・8	⑥松里小学校	31・41・8
▼中学生男子		①上郷中学校	55・05・1
①上郷中学校	56・16・8	②村立妙高中学校	56・47・8
②村立妙高中学校	39・13・5	③安塚中学校	35・28・5
③安塚中学校		▼中学校女子	
①村立妙高中学校		①村立妙高中学校	
②上郷中学校		②上郷中学校	

▼小学生女子B		①篠原直美(外丸小)	14・24・7
①篠原直美(外丸小)	13・19・1	②高橋陽子(助平小)	14・26・1
③小林正子(安塚小)	15・00・6	③佐藤あすか(松里小)	15・00・6
▼中学生男子 10キロ		①馬場里美(村立妙高)	16・18・1
①馬場里美(村立妙高)	16・24・1	②山下ルミ子(〃)	16・24・1
②山下ルミ子(〃)	16・26・5	③竹内雅子(浦田中)	16・26・5
▼中学生女子 5キロ		①島田敏光(上郷中)	25・39・9
①島田敏光(上郷中)	26・23・8	②若井憲一(松代中)	27・01・0
③島田武彦(上郷中)			



被害にあつたときは
必ず届出れ！

盗難などの犯罪の被害にあつたときに
「被害が少ないから」
「面倒だから」
などの理由で被害の届出をしないと、第二、第三の犯行につながり被害が広がることとなります。

事件の早期解決と被害の拡大を防ぐためには、皆さんからの届出が必要です。

届出は
事件解決の
糸口です！

第7回

松之山温泉スキーカーニバル・カザマカップ

3月25日開催

(うるおい新潟農業宣伝事業)



毎回好評の雪中綱引き大会 (昨年のスナップより)

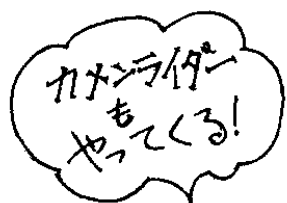
スキー場で行われる最大のイベント「第七回スキーカーニバル」が、今年も三月二十五日に盛大に実施される事になりました。

カザマカップアルペン大会も同時に開催されます。

また、今回は新潟県が農林産物の消費拡大を目的に運動している「うるおい新潟農業宣伝事業」との協賛が決まり、色々な催し物が新しく計画され、今までとは一風かわったカーニバルになるものと思われれます。

当日行われる主なイベントをいくつか紹介すると、子供たちに大人気の「カメンライダーブラックスヨー」が、午前と午後の二回行われます。カメンライダーの活躍を是非見に来てください。

そのほか、すっかり恒例となりました「雪中宝さがし」



「ム」酒一升早飲みりレー」雪上つなひき大会」も参加者を募集しています。豪華な賞品が多数用意されていますので、仲間でチームを作って出場してみてください。

うるおい新潟農業宣伝事業関係として、味の名店街コーナーとしてラビットストープ、キネツキ餅、甘酒の無料サービスをはじめ、あんぼ、ぼたもち、ちまき、手打ちそば、けんちん汁等々、地元の名産をたっぷり楽しんでもらえるようになっていきます。

また、米の消費拡大運動の

一つとして、おにぎりの品種当クイズを行います。コシヒカリ・トドロキワセ・アキタコマチ・アキヒカリの四種類のおにぎりの名柄を当ててもらい、正解者にはミニ米俵の賞品が贈られます。(正解者多数の場合は抽選)、挑戦してみてください。

今回はまた、ミス雪椿に選ばれた三人のお嬢さんがやって来て、セレモニーなど色々なお手伝いをしてくれます。新潟美人の三人を是非ご覧ください。

レストハウス雪椿の中では

「コシヒカリの里写真展」が開設されます。

これは、松之山の農山村の風景写真を集めて展示するもので、四季折々の松之山を広く皆さんから見てもらいます。「これは」と思う写真がありましたら、是非お貸しく下さい。展示させていただきます。当日は、午前十時より色々な催し物が一斉に始まりますが、カザマカップアルペン大会に出場する方や、味の名店

街を目的とされる方は早目に行かれた方が良いかも知れません。

内容盛り沢山のスキーカーニバル。家族連れで来てみてください。楽しい事がいっぱい待っていますよ。

なお、カーニバルについて詳しく知りたい事、競技参加申し込みなどは、役場振興課観光係にお聞きください。電話六―三三三番です。



黒倉

冒険学校の子供たちが

冬の松之山を体験

二月十日から十二日までの三日間、黒倉部落において松之山冒険学校が開かれ、東京・埼玉の子供たち三十二名と地元松之山の小中学生一八名が参加しました。

毎年一回か二回行われているこの冒険学校、今回は旧黒倉分校を拠点として色々な活動にチャレンジしました。

十日の夕方、地元参加の子供たちと黒倉の皆さんが迎えに来る中、到着した冒険クラブ

の一行は、夕食を食べ、その後開校式に臨みました。

二日目は朝から雨という、あいにくの天候でしたが、午前中計画どおり兔追いを実施、一度も履いた事のないカンジキをつけて山に入り、大きな声で兔を追いました。悪戦苦闘する事二時間、ようやく三羽の兔を捕まえる事に成功、都会の子供たちは真っ白な兔を見て大喜びでした。

午後から都会の子供たちは

民泊先へ出掛け、残った松之山の子供たちはケーキづくりでチャレンジしました。みんなで協力しながら生クリームを作ったり、カステラに塗ったり、初めて体験する子供たちがほとんどでしたが、おいしそうなケーキが出来上がりました。

最後の日は午前中に閉校式を行い、仲良くなった松之山の子供たちと別れて都会へと帰って行きました。



雨の中の兔追い、3羽つかまえて大喜び



旧黒倉分校に集まった子供たち。地元参加の子供たちとすぐ仲良くなりました

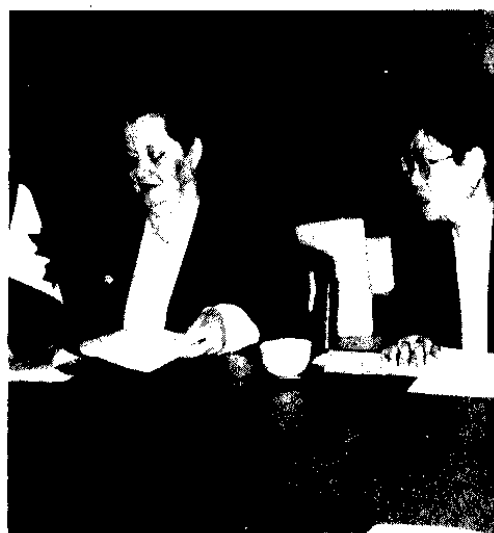
2月 フォト ニュース

カナダの子供たちと文通交流

婦人会の皆さんによるにぎやかな平成音頭

松之山中学と浦田中学の生徒は、カナダアルバータ州の日本語教育の手助けとして、三年前から文通をしています。このほど、アルバータ州政府の教育省に勤めるミセス・ターンプル氏が来日し、日本側の仲介者をしている浦田小学校の橋井校長先生らと交流されました。

ターンプル氏は、日本側から送られて来る手紙や絵、習字の手本、写真などは小学校から高校までフル活用され、大変役立っていると感じていました。浦田小学校では、四月より二年生がカナダの子供たちと文通を始めるそうです。



このほど来日したカナダ・アルバータ州のターンプル氏(左側)。「日本との交流をもっと続けていきたいと思っています」

2 真冬の芸能祭、今年で九回目(小谷部落)

冬の暇な時に芸能祭を開催して楽しんでいる小谷部落。今年も二月十一日の建国記念日に第九回目の新春芸能祭を行い、部落民総出で楽しいひとときを過ごしました。

午後一時、小学生に大人が交つてのにぎやかな八木節で幕が開き、続いて民謡や婦人会の踊り、子供白濁五人男、ダンス、カラオケ、落語に劇と、色々な出し物が楽しい雰囲気の中で次々と披露され、盛んな拍手を受けていました。今回も民謡会の方たちが、

湯山神楽の皆さん、水梨や大荒戸の皆さんなど多くの方がこの芸能祭を見に訪れ、友情出演をしたり飛び入りコーナーに参加するなどして、座を盛り上げていました。

昔話を題材にして田圃演じられる後継者会の皆さんの劇。今回は、悪賢い狐が最後にはおひとよしの川うそにだまされるという内容の「行部の三九郎狐と長者原の川うそ」が、おもしろおかしく演じられ会場の笑いを誘っていました。小谷の皆さんは十回を一つ

の区切りにしたいと、来年開催に向け準備を進めて行くそうです。



昔話を今風にアレンジした「行部の三九郎狐と長者原の川うそ」の劇。会場の笑いを誘っていました。

3 雨の中のスキー大会町内四地区一斉に開催

二月二十五日、松之山・松里・布川・浦田の四地区で一斉にスキー大会が行われ、スキーやレクリエーション種目で体力作りをしました。

昨年に引き続き少雪で、しかも三月末頃の暖かさの中での大会となり、各地区ではコース作り、会場整備にかなり

苦労されたようです。天候の方も、お昼少し前から雨が降り始め、一部プログラムを変更したり、松之山地区では午後、体育館の中で実施しました。

一月十八日の選挙の日が快晴だっただけに、ちよつと悔

やまれるこの日の天気でした。

松之山小学校で行われた校区民スキー大会は、町営住宅裏のアルペン会場で滑降競技を、また、その他競技はグラウンドで実施され、午後は体育館の中で室内競技を行いました。

4 県内のトップをきつて安塚高校松之山分校で卒業式

県内公立高校の中では一番

早く卒業式をあげるという事で、毎年テレビなどでも紹介される松之山分校。

今年も二月二十七日に卒業式が挙行され、五十二名が学舎をあとにしました。

この日は時折小雪のバラツク大変寒い日で、卒業生はもちろん、来賓、父兄の皆さんも身を引き締めて、式に臨んでいたようです。

担任の先生から一人一人名前を呼ばれ、緊張した面持ちで卒業証書を手にする卒業生は、心なしか大人びて見えま

した。

中島校長先生が「三年間学んだ事を思い出し、それを社会で実躍してほしい」と激励すると、卒業生代表の小林慶雄君は「この先どんな試練が待っているかも知れないが、松之山で培われた教訓を生かし、頑張つて行きたい」と決意を述べていました。

五十二名のうち、松之山には二名残つて就職するという事です。

町外に行かれる皆さん、ふるさとを忘れずに頑張つてほしいと思います。



中島校長より一人一人に卒業証書が手渡される。



卒業生を代表して小林慶雄君が答辞を述べました。



ソリレースでガンバル婦人の皆さん（松之山地区）

今回は雨の中の豪雪塾でした 一三三人も参加した第四回豪雪塾

雪を利用しての地域づくりを目的に始められた浦田地区の豪雪塾。早いもので今年で四回目の開催となりました。二月十日～十二日までの三日間開催された今回は、関東方面を中心に一三三名の方が参加し、雪国体験を楽しんでいきました。

しかし、豪雪塾とはいえ今

年も雪が少なく、メインの十日が雨と、天候にはちよつと恵まれない塾でしたが、それでも都会の人たちにとつては初めて見る雪の多さにビックリ、大変な喜びのようでした。

十日の夕方浦田に着いた塾生の皆さんは、四十一軒の民泊先に別れ、暖かいもてなしを受けながら一夜を過しました。

翌日はあいにくの雨。計画では午前中に「やぶこざきレース」など、雪上での色々な競技にチャレンジしてもらう予定でしたが、それを十二日にまわして、お昼近くから集合して歳の神作りを体験。ワラを集め高く組んでいくのを珍しそうに手伝っていました。夕方から小学校体育館に会場を移して、すっかり恒例となった「重箱パーティ」の始まりです。おにぎり、あんぼ、

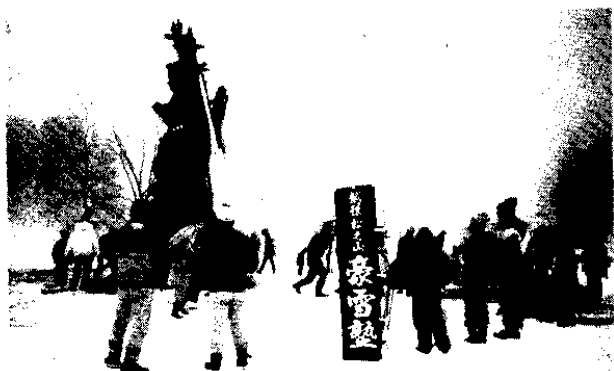
けんちん汁、おでん、ヤキソバなどの屋台が周りを取り囲む会場では、民泊先の方や一般地区民の方たちが持ち寄った重箱が並び、地酒もふるまわれて賑やかなパーティが遅くまで続けられました。

最後の日となった十二日は雨もあがり、絶好の雪上レ-

ス日和り中、北浦田の田んぼの上で「やぶこざきレース」やソリ乗り、雪像作りなどが行われ、体力を持て余していた塾生の皆さんは大ハッキリで頑張っていました。

昼食にはモチが用意され、三升モチを八うすつきました

が、つくのが間に合わないくらい沢山食べてくれて、地元の方を驚かせたようです。午後二時、塾生の皆さんは、楽しかった思い出と満腹のおなかを抱えて浦田を出発して行きました。



雨の中での歳の神づくり



やぶこざきレース「なかなか思うように走れない」



体育館での楽しい重箱パーティ

お知らせ

「車両系建設機械運転技能講習」

講習

機体重量3トン以上のブルドーザー・トラクターショベル・バックホー及びくい打機・くい拔機等の運転は、労働安全衛生法により、指定教習機関の行う技能講習を修了したものでなければ、運転できないことになっておりますが、この技能講習が平成二年度は次のような日程で実施されますので、お知らせします。

十一日、実技・十月一日
五日

※大型特殊免許取得者は実技一日で修了

二、実施場所

新潟市新崎二五六

神鋼コベルコ建機㈱ 新潟建設機械センター

三、問い合わせ先

新潟市新光町七十五 新潟県建設会館内

建設業労働災害防止協会新潟県支部 TEL〇二五

二八五―七一四一番

運転技能講習

〇第一回 学科・四月四〜五日、実技・四月二三〜二七日

〇第二回 学科・五月二八日〜二九日、実技・六月一八日〜二二日

〇第三回 学科・七月二日〜三日、実技・七月三十日〜八月三日

〇第四回 学科・九月十日〜



住所を移される方は 手続きを忘れずに！

三月・四月は進学・就職・転勤等で住所が変わる方の多い月です。

松之山から町外に出られる方、また逆に松之山に來られる方は、住所移動の届出をきちんと済まされるようお願いいたします。

住所の移動は、實際転入または転出された日より十四日以内に、役場などの役所に届出をする事になっております。

届出には移動先の住所（アパートなどは名前も必要）移

動日・印鑑・保険証（国民健康保険証）、印鑑登録をされている方は登録証が必要です。

進学される方も住所を移動される方が便利です。免許をお持ちの方は、免許証の住所変更もお忘れなく。

この住所の移動がされていないと病気をしても保険証がなかったり、色々な権利を行使できなくなったりします。

大切な届出です。忘れずに手続きをしてから移動しましょう。

気をつけよう訪問販売

契約書と領収証はしっかりと……

最近減って来たとはいえ、まだまだ訪問販売によるトラブルが後を絶たないようです。

消火器・便所のファン・反物と高価な割りに粗悪品を売りつけられ、お金を支払ってしまい、後ではどうする事も出来ずに泣き寝入りするケースが多く発生しています。

訪問販売は正規のルートを通しているものかほとんどで、まず疑ってみる事が必要です。たとえ顔見知りであっても契約書をかかず事、また、お金を支払ったときは必ず領収証をもらうようにするのが、後でのトラブルを防ぐ一つの方法かと思えます。

高価な品物ほど一人でなく二〜三人の人が同席する所で

良く見て、契約の内容をしっかりと確認してから買うようにしましょう。

とにかく、すぐお金を支払うというのは避けた方が良いでしょうし、あまりしつこいようでしたら地元の駐在さんに相談しましょう。



美しいアルプスの山々（スイス）

西欧リゾート視察旅行 に参加して

助役 田辺 誠二

No. 5

まとめ

観光文化交流研究所、小杉恵先生が今回の視察研修旅行における研究テーマとして示した課題について感想を述べることにいたします。

スイスの高原リゾートについて

やはり世界のスイスという印象を強くうけましたがこれは自然美の世界でもあります。年間雪水に覆われたアルプスの地帯、その下には牧草原が広がり、これをアルプスの地帯といい、そこに住宅、牧舎が点在しております。更に山すそには良く管理された森林地帯が広がっております。このように三つの地帯は整然と区分され、全体の調和を図り、そこに第一次産業として畜産と林業を興し労働力を吸収しております。土地を守り、アルプスを守りながらリゾートに供するというシステムは正に現在尚発展を続け得る所以であると思いました。

都会の人達は山間を訪れて先づ自然が美しいと言われま

す。しかし西欧における自然の美しさは日本で言われる考え方と違っております。西欧では牧草原として管理し、森林は造林として立派に管理しているのです。雪水に覆われたアルプスにおいても汚水の処理、ゴミ処理等自然を汚さないため細心の注意を払っております。その基本は土地を守ることに通じるということになります。しかしそれは広範に及びます。耕地あり、山林あり、山岳あり、それぞれ現在おかれている条件の中でふさわしい全体構造を作り上げることが求められます。即ち本当の自然の美しさは手を加えた土地であり、立派に管理された森林であると考えます。保養地には温泉がその核となります。日本の観光施設は温泉があっても他の施設をセツトとしては考えておりません。観光客も小杉先生の言を借りれば一泊型であり、長期滞在型リゾートの整備については利用においては国民性も大きく影響するものと思われまふ。しかし今後高齢



ゴミ一つないスイスの町並み
日本もこうあってほしいと思う。

化社会が強まる中で温泉の利用は一層進むものと思われまふが、西欧では温泉保養についての基本理念としては四日以上滞在して温泉を利用してはじめてその効能が期待されるという説明もありました。

当町の温泉は大変貴重な資源であります。新しい泉源についても検討中ですから今後に期待されるところが大きいと存じます。又文化遺産については有効活用が考えられますがそのまま存置する部分と手を加える部分を精査して整備を図ることも課題のように考えます。更に全町に広

る山林については戦後営管として造林を続けた杉林地はこれを資源として認識し、ブナを中心とした活葉樹についても最近関心が寄せられているがこれも同様であり当町の特徴として位置づけたらどうかと思います。

何れにしても第一次産業と深く関わるることによって地域全体の活性を呼ぶものと考えられます。

以上が西欧の現実に接し、感じた一部であります。どうもありがとうございました。

「長い人生、楽しく生きようでね！」

二月から三月にかけて町保健婦が、社教職員や社会福祉担当職員と共に、各部落におじゃまして開いている冬期講座。

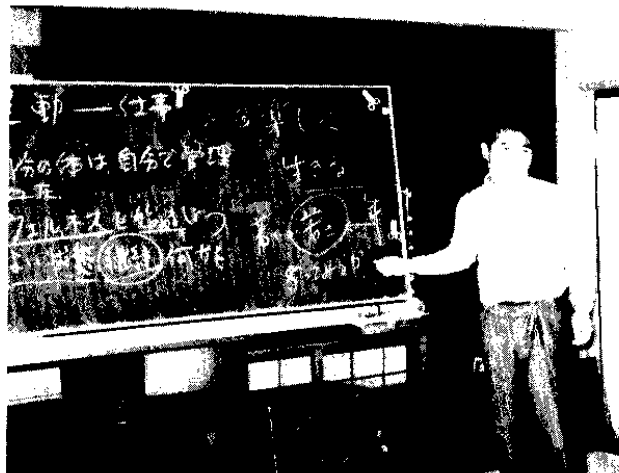
昨年の総合検診の結果をお知らせしたり、町で行っている社会福祉事業の報告、また、公民館の間嶋先生による体操や生きたい講話、保健婦さんによる寸劇などが主な内容ですが、健康に対する関心の高

まりもあって、どの部落でも大勢の人が参加されているようです。

中でも、公民館の間嶋先生によるストレッチ体操や健康講座は好評で、けっこう年配の方までケラケラ笑いながら身体を動かしたり、話に聞き入ったりしています。間嶋先生は、県の教育委員会から派遣社教として松之山に來られて

三年がたち、四月からは中学校の先生に戻られる事が決まっています。

保育園児から高齢者の方たちにもまで親しまれて来た先生なので大変残念ですが、これから頑張っていたきたいと思っています。
「人間いつかは死ぬんだすけ、楽しく生きようでね。」間嶋先生の健康講座から……。



一生けん命指導にあたる間嶋先生



さあ、おもいっきり背筋を伸ばして
(上湯部落の皆さん)

文芸欄

俳句

俳句ばかりでなく短歌・川柳・生活詩等も掲載したいと思いますので、多くの方のご寄稿をお待ちしています。

新雪の浄めし山へ四方拝
昨日今日母ある如くあたたかし
梶のこゑどん底に眠る村

小谷 鈴木 俊一(栄や)

治療まつ待ち合い室のシクラメン
顔いっぱいマスクして子の春の風邪
雪解水さつとよけ入る寺の門

松口 保坂 武雄(三枚田)

選手宣誓山彦となり春近し
目標に向って一線雪の道
病院の玄関出れば春の雨

天水越 佐藤 高歩(上内屋)

雪解水樋ほとばしり勇気湧く
斑雪まだ降ると判れと灰を撒く
薄氷を踏みふみ得意登校児

上川手 村山 悦夫(重屋)

効くと決め吸る生みたて寒卵
六尺の雪を小雪と冬籠り
舗道染む雪庇の雪春の色

中尾 高橋春光子(平吉)

町史編さん
だよ

松之山の ネズミ類

No. 33

動物の調査を始めてから、二年半がたとうとしています。その間ネズミ類については、はじきわなを使い、七〇頭ほど捕獲しました。嫌われ者として名高い家ネズミ（クマネズミ等）とは、少し違う野ネズミ達の横顔を紹介します。

▼ホンドアカネズミ

松之山の全域にごく普通に生息している。体毛はきれいな赤褐色であるためアカネズミの名がついた。夜行性でドングリ、クルミなどの種子を好んで食べる。稲穂をかじったり、田のあぜにトンネルを



ヒマワリの種を食べる
ホンドアカネズミ

ほったりと、いたずらをする
ことも多い。

▼ホンドヒメネズミ

森林棲のネズミで、松口の美人林から天水越・深坂峠まで広い範囲で捕れた。ブナやスギの林を好み水田地帯は少ない。アカネズミによく似るが、小型で尾が長いのが特徴である。食性は草木の種子が中心で、田畑に害をおよぼすことは、少ないと思われる。

▼カゲネズミ

今回の調査で生息が明らかになった種類。低山のブナ林などに棲む。天水越・深坂峠林道で三頭、岩見堂で二頭、浦田中原地内で一頭を捕獲した。いずれも標高六〇〇メートル以上でそれより低い所では見られなかった。形体的に他の二種と違い、目・耳は小さく尾も短い。地下棲に適応

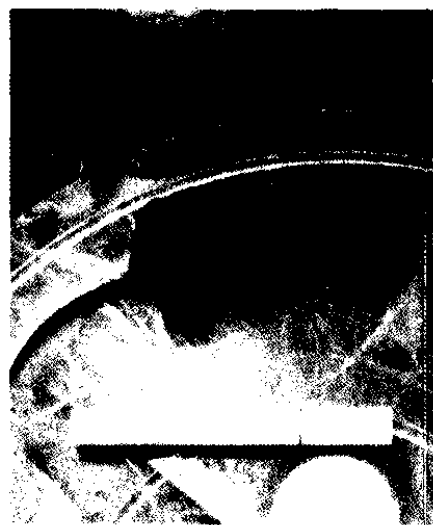
したものであり、モグラに近いネズミの仲間と言われている。

▼ホンシユウヒミズ

(食虫類)

食虫類というモグラの仲間。体長は尾を入れても10センチ内外で「小柄のモグラ」といえばたいいていこの種である。平地から高山帯まで広範に棲む。主としてトンネル生活をするが、しばしば地上を歩く。そのため、はじきわなに

もかかり、飼猫がつかまえてくることも、よくある。食性は動物食で、ミミズ、小型の昆虫等である。



ジネズミ

▼その他の小型哺乳類

食虫類では、ホンシユウジネズミが、深坂峠で捕れた。また昨年の10月に北浦田でニホンカワネズミが採れ、県内の分布域が変わるうかという貴重な記録になった。また天然記念物のヤマネが一〇年ほど前に天水林道の飯場小屋で見つかった記録もあり、現在も深坂峠付近に生息している可能性が高い。

文責 高沢宏保



ヤマネ

左からヒメネズミ、アカネズミ、カゲネズミ（2頭）

スケールは20cm

春季火災予防運動

4月1日～7日まで

“おとなりに

あげる安心 火の始末”

この運動は、火災が起こりやすい時期を迎えるにあたり、地域住民一人ひとりの防火意識の高揚を図り、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。

火災の大半は、ちよつとした不注意から起きています。

「我が家から火を出さない」を合言葉に、次の点に充分注意しましょう。

○寝タバコやタバコの投げ捨てをしない。

○子供は、マッチやライターで遊ばせない。

○風の強いときは、たき火をしない。

○天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。

○家の囲りに燃えやすいものを置かない。

○風呂の空だきをしない。

○ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

また、雪解けと共に「山火事防止運動」も実施されます。今年は暖冬・小雪で、これから山火事が多発が予想されます。たき火・野焼きには充分注意してください。



第37回

信越学童スキー大会

頑張った松之山の子供たち

二月二十二日、妙高高原町で第三十七回信越学童親善スキー大会が行われ、松之山・松里・浦田の三小学校から選手が出場して活躍しました。

新潟、長野両県からの三十六校によって行われたこの大会、松之山の三小常校はいずれも二部校（十五校）として参加しています。

大回転と距離競技の二種目があり、その成績で学校順位が決められますが、今回の大会では松里小学校が三位、浦田小学校が六位、松之山小学校が十位という成績でした。

各種目の成績は、次のようになっています。

▽大回転男子
4位 高沢 平（松里小）

6位 津端康裕（松之山小）
10位 相沢俊幸（〃）
▽大回転女子

4位 小野塚尚子（松里小）
5位 佐藤 愛（〃）
▽距離 男子

5位 高橋利一（松里小）
9位 高橋佳男（〃）
10位 飯塚伸太郎（浦田小）
▽距離 女子

5位 小見祥子（浦田小）
10位 本山夏子（〃）
▽男子リレー

3位 松里小学校 48.29.3
6位 浦田小学校 51.20.3
7位 松之山小学校 52.58.5
▽女子リレー

2位 浦田小学校 37.28.5
6位 松里小学校 39.31.4
9位 松之山小学校 41.07.2



会員数の減少が激しい町連合婦人会

何でも 質問コーナー

皆さんからのお便りをお待ちしています。
役場議会事務局まで

農業祭と婦人会の協力について

どこの部落でも高齢化の波はご多分に漏れず、新規加入者が無いのに、年々婦人会を退く人がどんどん出ており、会の存続も危うくなっている部落が少なくないといわれています。

毎年の事ですが、婦人会は大切だから無くせないという事で頑張っている部落には、町の農業祭の準備で、おにぎり作りなどで何人か協力するように、割り当てが来ます。

婦人会を無くした部落は何の協力要請もありません。農業祭は全町挙げて参加し盛り上げるものですから、ちよびり不満が出ます。婦人会が有っても無くても、全部落公平に割り当てるようにしたらと思うのですが、今秋の農業祭の実行に当り、その辺の計画をお聞かせください
一 婦人会員

組織を挙げたご協力に期待

町農業祭は、町民の皆さんが心を一つに収穫の喜びと文化の香りを享受する一大イベントとして、松之山の土壌に定着しました。

このイベントの成功を大きく支えているのは、ほかならぬ町連合婦人会の人々です。前日の手打ちそば作り、おにぎりやもちの準備、伝えてゆきたいわが家の味と香りの出品など、それに掛ける労力は大変なものです。

しかし、会長さんを中心に副会長、支部長、部落の会長さん方など、献身的かつ情熱的なご協力をいただくことができました。主催者である町として、共催くださった町連合婦人会に対し、改めて感謝の意を表します。

これだけの熱意を農業祭に傾けていただけるのは、町を支えようとする意欲と、社会

参加活動を通して自らを高めたいとする自覚が、底流に脈脈としているからではないでしょうか。そう信じ、敬意を表さなければなりません。

農業祭へのご協力は、婦人会の組織的参加であるゆえ、部落婦人会の組織を持たない部落には、役割分担をお願いしていかないのが現状です。

しかし、最近になって連合婦人会を休むことを検討しつつある数ヶ部落では、例えば休むことになっても、農業祭や町民体育大会など連合婦人会が参画する行事には協力を続けよう、との方向へ話し合いが進んでいます。ここに、大きな期待をつなぎたいと考えています。

また、農業祭の役割分担を休んでいる部落であっても、かつてご活躍くださった方々の中には、現役で頑張っている役員の姿を見て、感謝の言葉を忘れない人も、少なくありません。さすが、松之山の婦人の皆さんの心は、素晴らしいと思います。

いま町連合婦人会では支部長制の見直しなど、新しい時

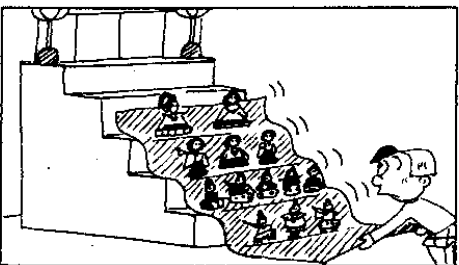
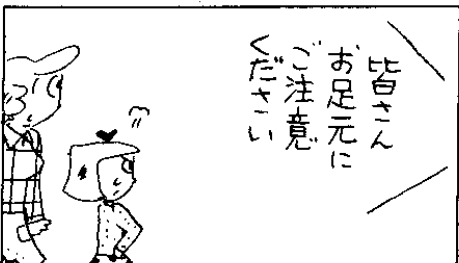
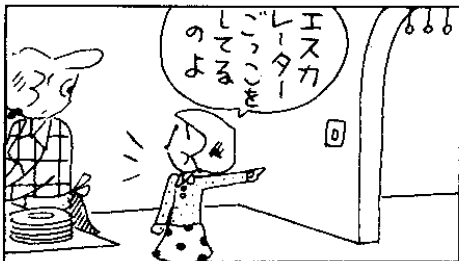
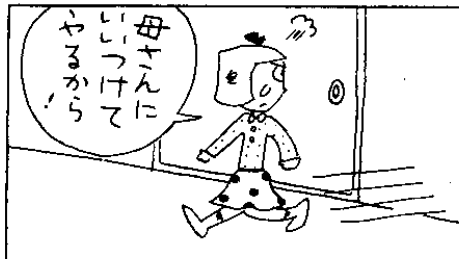
代に入ったようです。九回目の今年の農業祭にも、婦人会の真価を発揮してくださるよう、心から期待しています。

この回答文は、重野和子会長さんと相談のうえ作成させていただきます。

松之山町役場産業課



農業祭で人気のある「わが家の味自慢コーナー」



登記所からのお知らせ

登記所にある会社の登記簿及び各種の法人の登記簿の閲覧は、平成2年4月1日から有料（300円）となるとともに、登記簿の謄本・抄本・証明・閲覧等の手数料が下記のとおり改定されます。

なお、詳しいことは、最寄りの登記所の窓口でお尋ねください。

○登記簿の閲覧	200円→300円
○謄本・抄本	400円→500円
○会社等の印鑑証明	200円→300円

戸籍の窓

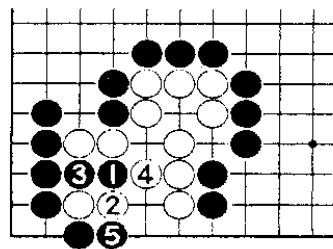
おめでた（出生）

可奈ちゃん 小林 哲さんの長女（湯山） H2・2・3
連ちゃん 高橋 明さんの長男（天水島） H2・2・16

あくやみ（死亡）

（死亡年月日）
佐藤慶治郎さん 76歳（曾根）福見屋 [2・2・6]
布施マツエさん 77歳（黒倉）向山 [2・2・17]
本山 イセさん 78歳（田麦立）宮下 [2・2・21]
※2月1日～28日までの届出分です。

案外やさしい問題です。黒1のツケ一発で、白は窮します。白2・4と眼を作ろうとしても、黒5までで死にです。白2で3と打つても黒2で死にです。

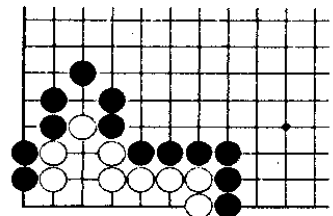


正解者

相沢 伸夫さん（松之山）
若井千代松さん（小谷）
村山 伸さん（湯本）
久保田光栄さん（天水島）

2月号の答え

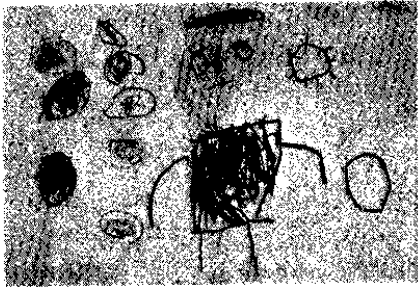
詰碁の解答を募集しています。3月24日までにハガキなどで役場広報担当まで、正解者には粗品を進呈。



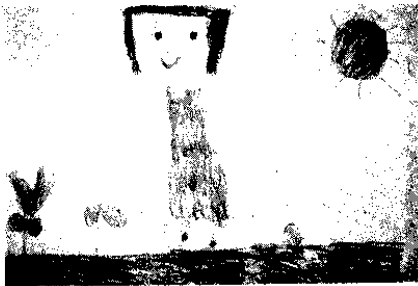
黒先白死（1手だけ）
コウにははいけません

詰碁

有段をめざして



おもちつき



外で遊んでいるの



むらやまきよはるくん



太陽が出たと思ったら
また雨になった



あいざわかおりさん



ひぐちゆうまくん

- ▼2月のできごと
- 1日 議会総務民生委員会 (2日まで)
 - 3日 松之山町スキー大会 (4日まで)
 - 10日 浦田豪雪塾(12日まで)
 - 15日 葛飾冒険学校(12日まで黒倉)
 - 18日 例月監査
 - 17日 選挙管理委員会
 - 16日 選挙事務打合せ会
 - 衆議院議員選挙投票日

- ▼3月の予定
- 19日 温泉委員会
 - 25日 体育協合理事会
 - 27日 各地区スキー大会
 - 28日 安塚高等学校松之山分校卒業式
 - 28日 議会運営委員会
 - 28日 農業委員会総会
 - 2日 水田農業確立対策推進協議会
 - 6日 3月定例議会 (9日まで)
 - 14日 松之山・浦田中学校卒業式
 - 24日 町内各小学校卒業式
 - 29日 3月臨時議会

こよみ



外に出て春らしい日差しをいっぱい
浴びながら遊ぶ子供たち

(松之山保育所)

編集後記

二月中は、雪らしい雪はほとんど降らず、本当に助かりました。囲りの山々を見ても、地肌の黒々とした所だけが目につく、四月上旬くらいな景色に見えます。

もうフキストウの天ぶらが食卓を飾るほど、春めいて来たんですね。

高校の卒業式も終わり、また若者が松之山から出て行きます。全部と言わないまでも、せめて半分くらい地元に残れる町になったらいいと思います。

三月一日の人口

総人口/三、九三三(〇)

男/一、九二三(〇)

女/二、〇一〇(〇)

世帯数/一、一八八(〇)

(一)内は二月一日との比較

▲は減

広報まつのやま三月号

平成二年三月十日発行

発行/新潟県松之山町

六六三三三

編集/議会事務局